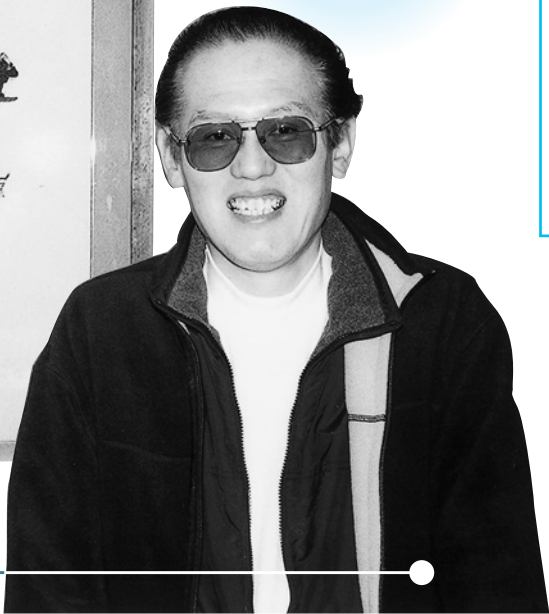
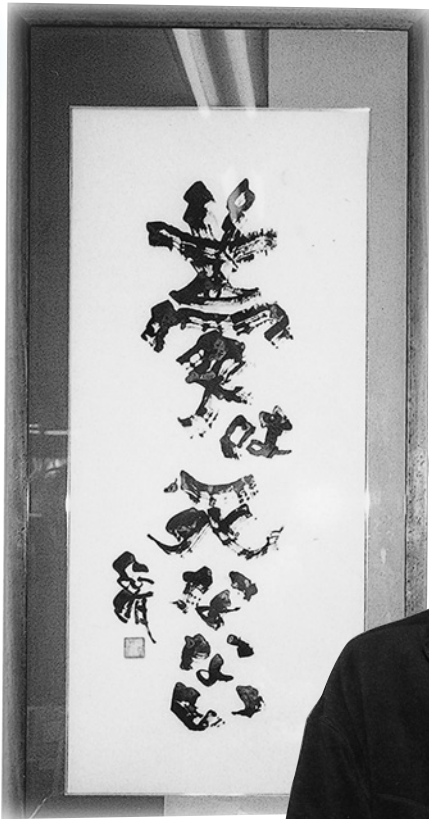


夢

追

い

人



(株)丸庄  
代表取締役社長 酒見俊郎さん

「センスのいい家具だなあー」。前々から展示会で目に留まる家具があった。(株)丸庄の家具である。

(株)丸庄は、ユニークな家具作りに取り組んでいる。製品には相反する二つのコンセプトがある。

一つはシンプルモダン。簡潔で都会的センスを持つ家具である。もう一つは、手作り家具である。職人の家具と言っている。どちらも感性豊かな家具類である。

シンプルモダンについては、「取引先は、関東を中心とする百貨店。伊勢丹、東武、三越、高島屋などです。近年では一部問屋を通さず、直接取引も行っていきます。」と酒見さんは語る。

それだけに商品開発、デザインには大変力を入れている。優秀なデザイナーを起用している(名前は控えてほしいとのこと)。社長自らもデザイナーとして、企画・立案の段階から係わる。

「あれは多品種一本生産です。どうしようかであるとか。多



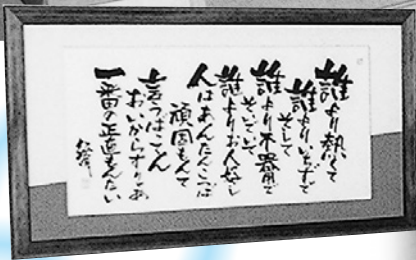
品種少量生産という言葉があるが…?。「カスタムオーダーです。でも別注家具でもありませんよ。」

このシンプルモダン家具は、基本的な規格を持つ、製品群である。しかし、細かい注文に応じる体制も整えているのだ。寸法、色、顧客のニーズに柔軟に対応できる。ただ見込み生産はしない。

取引先との打ち合わせ、工場に対する指示系統、従業員間のコミュニケーションにはことさらに神経を使っている。また「仕上げまで決まって受協しない」社がある。

従業員の皆さんには「自分

仕上げまで  
決して妥協しない



シンプルモダンではあるが、  
独特の面白さがある。

でお金を出してその家具を買うつもりで、作ってほしい。」と強く指導している。

こうした生産ラインは、効率はある程度、落ちるとしても、顧客ニーズに応え、質のいい家具を作る点では、ふさわしいやり方のように思える。確かに(株)丸庄では、付加価値ある、家具の需要を生み出している。需要低迷の家具業界にあって、一つの提案をしているように思える。

(株)丸庄のもう一つの柱が、手作り家具である。実は全国に八力所の店舗を持つ、手作り家具のチェーン店「頑固おやじ」に製品を供給している。社内展示場に並び、職人の手作り家具は、いずれもユニークで趣のある製品である。シンプルモダン家具との対比が面白い。塗料はオイルをつかう。といっても大川で一般に使われているものではないそうだ。研究を重ねた結果、今使っている独特のオイルに行き着いた。

(株)丸庄は、免疫材を使った、「グループプライムウッド」にも参

加している。イムウッド発足の発表会には、多数のメディアが集まった。健康を増進するという免疫材の機能に注目が集まっているのだ。「ただ、これだけでは需要に繋がらない、やはりデザイン性がどうしても必要と考えています。今後はこの面にも力を注ぎたいと思っています。」酒見さんには、免疫材を使った製品を今後三本目の柱にしたいとの意向がある。

シンプルモダン、しかもカラムオーダー、手作り家具、それに免疫材。大川でも特色ある家具作りに励む(株)丸庄には、確かに目を見張るものがある。

